

令和7年度

赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り 令和7年9月16日(火)

校長 高橋 励



ほごしゃ ちいき みなさま
～保護者・地域の皆様へ～

やがては社会の一員になるために。

ホンモノの情報が触れることが「生きた学び」につながる、と願いを込め、赤中は今年もこんな取り組みをしています。

2年生「仕事のまなび場Jr」

9月11日(木)5・6校時

※今回も井出教頭先生にレポートしてもらいました。



「仕事のまなび場Jr」と題して、2年生は5つのグループに分かれて職業学習を行いました。プロの演奏者、理容、美容、調理師、デザイナーの方々に来ていただき職業についての講話と実演を織り交ぜた2時間の講座となりました。

ここで講座の一部を紹介いたします。調理師学校の先生による調理に関する技術や使い方です。まずは、まな板の上にきゅうりと包丁の置き方、そして包丁の扱いについて、持ち方や使い方とそのコツ、さらにはきゅうりの切り方の実演を見せていただきました。

美容では、美容師の方に直接質問する時間がありました。生徒からは、様々な具体的な質問が出ていました。講師の方のわかりやすく丁寧な説明を聞き、「さすがプロの技だ」と思える発言に生徒は驚いていました。

「前髪をつくる」にしてもいろんな方法があるし、顔の形や特性に応じて似合い方も違うとのことでした。

ぜひ、学んだことを他の講座を受講しているクラスメートとも共有することを期待します。



1年生「防災アカデミー」

9月12日(金)の2校時に、「災害時における危険を認識し、日常的な備えを行うとともに、状況に応じて、的確な判断の下に、自らの安全を確保するための行動ができるようにする。また、専門家から身近に話を聞くことで、防災に対する意識を高める」ことを目的に、茅ヶ崎消防署の方に、クラスごとに講話をしていただきました。



右の写真、

モニターで
見ているのは
「阪神大震災全記録」という映像資料。1時間の

講話の中では、地震・火災・津波・風水害など大きな災害時には、消防隊の方だけでは救いきれない状況が生じること、だから自分の命を自分で守ることを心がけてほしいこと、そのために、いざというときに

必要な知識を身に付けて準備してほしいこと、そして、できるだけ、お互いの命を守り合うための行動をしてほしいことを、

隊員さんが実感を込めて語っていただきました。

どんな話だったか詳しくはお子さんにたずねてみてください。これから台風の季節。その備えとして家族で話をするきっかけになれば幸いです(*^-^*)

